

# 赤鬼の春Ⅱ 33

## 思いを込めた応援のために

### 合同応援練習実施



▲野球部員とチアリーダーは場面ごとに細かい調整を行った。

3月21日に本校体育館でチアリーダーと野球部、生徒会による合同応援練習が行われた。参加者は当日の応援を意識しながら動きを確認していた。



▲チアリーダーの練習にも熱が入る。

応援団長の川瀬隼大君(2-4)は「曲の速さがチアリーダーとずれがいたので、合わせるが大変だった。みんなが応援しやすい環境を作るために笑顔を絶やさないことと、大人数の応援で求められる一体感を意識していきたい」と意気込んだ。副応援団長の西村圭輔君(2-5)は「まだまだ声を出せると思うが、楽しい雰囲気のおかげで応援できていない。当日は応援に滞りが無いように頑張りたい」と話した。チアリーダーの代表を務める東田七瀬さん(2-6)は「全体的に振り付けは

そろってきていて、今の課題は声を出すことだ。また初心者と夏に経験した人との差が出ないよう、休憩中に教え合っている。野球部みんなが頑張れるように、全員で応援をそろえて応援で全校をリードしたい」と微笑んだ。村井三幸コーチは「チアはまとまってきた。野球部は夏よりも応援に余裕を感じられた。生徒会もすぐ溶け込んでくれて助かっている」と安堵の表情を見せられた。木村優花先生は「チアリーダーと野球部の応援を合わせたのは初めてだったが、スムーズにできたと思う。良い雰囲気練習することが大事。今回は夏の大会に比べて練習時間が長いので、より完成度を上げていきたい」と意欲を見せられた。



速報新聞

# キマグレ

発行所  
彦根東高等学校  
新聞部  
彦根市金亀町4番7号



▲生徒会役員らが製作したプラカードが使われた。